

k-ふれあいネット

上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町1664-1 TEL 0289-62-7167

『地域連携教員』研修から



8月1日の「上都賀地区地域連携教員等研修会（兼上都賀地区現職教員社会教育主事会研修会）」では、地区内の地域連携重点推進モデル校の取組を発表していただきました。

鹿沼市立東中学校教頭 堀加津雄先生、地域連携教員の臼井孝行先生からは『東雲(しののめ)弁当づくりを中心とした地域住民と生徒の交流活動』について、主に教頭と地域連携教員が役割を分担して地域連携活動を展開している事例を紹介して頂きました。



また、日光市立轟小学校教頭 湯澤美佐江先生からは、教頭が地域連携教員を兼ねている学校の『地域連携推進体制づくり』について、現在までの取組及び今後の展開等を紹介して頂きました。

今回の発表は成果より推進の過程に視点をあて、地域連携教員として参加者に共感して頂くことにも重きをおいて実施しました。

【参加者の感想】から ◆発表から考えたこと…

- ① 学校と地域の連携には、学校の実態と現状、そして課題を把握し整理する。
- ② 目標を設定し、目標達成の姿を具体化する。
- ③ その目標に向かって行動する。
(内容はちょっとでも良いから具体的で楽しく、学校・地域のメリットがあること)
- ④ 行動した結果を整理し、発信する。



また、感想等からもキーワードとして〔楽しく、無理なく続けよう〕という言葉が参加者の印象に残ったようにつながりました。

グループ協議では、2学期からの『はじめの一步』を考えようというテーマに基づき、各校における地域連携をより充実させるための具体策を考えました。参加者からは、学校間の情報交換はとても参考になった。他校の実践例はとても参考になるので、グループ協議時間をより多くもうけて欲しい・・・等の感想が寄せられました。全員が具体的な方策を学校に持ち帰りましたので、今後の取り組みが期待されます。

地域コーディネーターと、生徒と
ともにできる活動
を発見してい
こう……。

「学校支援ボラン
ティア・地域人材
活用学習」一覧表
を作成することか
ら、始めてみよう。



清掃ボラン
ティアを募集してみ
ようかな……。

ボランティアの方々の写
を校内に掲示して、教職員
や児童に周知してみよう。



文化事業の紹介

地区内の小・中学校で開催された事業の一部です。



南摩小・下原小学校で和太鼓の講師による“芸術家の派遣事業〔文化庁〕”が行われました。和太鼓は講師が持参するので準備の必要もありませんでした。また、参加児童全員が直接指導を受けることができました。

加蘇中学校を拠点に「ヴァイオリン・チェロ・ピアノのコンサート」「移動音楽鑑賞教室〔公益財団〕」が行われました。参加者は楽器のもつ音色の素晴らしさに酔いしれました。また、演奏者には児童の質問にも答えていただき、大変充実した時間を過ごすことができました。

今市第二小学校では「巡回伝統芸能公演〔公益財団〕」狂言「柿山伏」「附子」の公演が行われました。伝統芸能の素晴らしさを分かりやすく、説明を加えながら実演していただきました。

次年度の実施希望調査を各市教委からご案内いたしますので、ご希望がありましたら応募ください。

地区ふれあい学習推進会議

上都賀地区の現状から、テーマを「地域ぐるみで子どもたちの生きる力を育む取組の充実を目指して」と設定し、地域ぐるみで“子どもたちを核とした地域づくり”を推進することの必要性や地域ぐるみで子どもたちに「生きる力」を身につけさせる方策等について、8月21日に第1回会議を開催し、委員の皆さんから御意見を頂きました。

今後の方向性として、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力を」育むために、学校と地域が力をあわせ、子どもたちの豊かな体験・交流・学習活動を充実させるための具体策について、12月9日の第2回会議で検討していく予定です。



【上都賀地区ふれあい学習推進委員】の皆さんを紹介します。(敬称略)

但木 正弘〔鹿沼市北押原地区公民館長〕
村山 智彦〔鹿沼市立北押原小学校教諭〕
金田 良史〔鹿沼市立北押原中学校教諭〕
齊藤万里子〔北押原中地域コーディネーター〕
渡邊真知子〔地域活動実践者 北光クラブ〕
御地合直美〔地域活動実践者 ミニかぬま〕

永島 紀男〔日光市小林公民館長〕
湯澤 敦子〔日光市立小林小学校教諭〕
斎藤 修〔日光市立小林中学校教頭〕
田代 恒子〔小林小地域コーディネーター〕
五十嵐至子〔地域活動実践者 大沢ふれあい活動〕
宮地 ゆみ〔地域活動実践者 安良沢ふれあい活動〕



各市の学校支援ボランティア活動研修

【鹿沼市】

鹿沼市立北小学校にて10月21日(火)に開催されました。内容は、地域コーディネーターの北光クラブが鹿沼市伝統工業の一つである組子細工の講師をコーディネートした事例で、学校支援ボランティアとしての準備及び授業で講師の補助をしている実践を参観しました。

学校支援ボランティアが、3年生の社会科の授業で実際に関わっている様子を見学して、子どもたちへの接し方や声かけなどのタイミング、支援のポイント等を再確認できました。

後半は、参加者からの感想や質問を共有して、今後の活動の充実に生かしていける研修となりました。

【日光市】

11月10日(月)に大沢地区センターにて開催されます。内容は前半に『学校と地域が連携協力して子どもを育てる意義や効果について』というテーマで、講演が予定されております。講師は、茨城大学准教授 長谷川幸介 氏です。

後半は、『学校と地域の連携、そのヒントを探る』というテーマで、インタビューフォーラムを予定しています。

発表者は以下の方々です。

日光市立落合西小学校 教頭 鈴木律子 氏
大沢中学校支援ボランティア 神林すみ子 氏
小来川小中地域コーディネーター 大橋芳明 氏

防災・減災 まちづくりフォーラム

日時 : 11月27日(木) 13:20~
会場 : 鹿沼市菊沢コミュニティセンター
講演 : 「災害が起きる前に考えておくべきことは」
~避難所運営を意識した視点で~

講師 ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原公彦 氏

ワークショップ:「避難所運営ゲーム(HUG)」

☆みんなの避難所を一緒に考えましょう! 参加ご希望の方は、お電話にてご連絡ください。
学校・公民館・自治会・市民の皆さん どなたでも結構です。0289-62-7167(片桐)

